

**平成 29 年度 第1回
市民と議会の懇談会概要**

平成 29 年 7 月開催

宮 津 市 議 会

「市民と議会の懇談会」 概要

開催日時	平成 29 年 7 月 7 日（金） 午後 2 時～ 4 時
開催場所	天橋立駅 2階 会議室
相手方（人数）	天橋立観光協会 7名
担当	総務文教委員会

【報告内容】

- ・平成 29 年度当初予算 主要事業
- ・平成 28 年 3 月補正予算 主要事業
- ・所管事務調査等議会活動

【主な意見・要望・提言等】

Q. 観光商業施設（現：食品卸売センター）と銘打っているが、行政の担当は産業経済部となっており、ハマカゼプロジェクトの店舗は企画部の担当となっている。なぜこのような担当になっているのか。

A. 食品卸売センターについては、地場産業の振興施設ということで、産業経済部が担当していた。ハマカゼプロジェクトについては、浜町エリアが再開発用地ということで、企画部が担当していた。食品卸売センターは現在使われていないので、その施設をどのように利活用していくかということで産業経済部が引き続き担当している。

Q. 宮津市は観光を推進していかないといけないと言われているが、観光のインフラをどのように整備していくのか。例えば、温泉を汲み上げる施設の老朽化については、どのように考えているのか。源泉維持のため入湯税をしっかりと還元していただきたい。文珠地区、府中地区、由良地区にそれぞれ温泉組合があり、源泉管理をしている。文珠地区の源泉維持については、泉質が変わったこともありメンテナンスは年 1 回から 2 回になり、民間に負担がかかりすぎている。

A. 入湯税の使途は決まっている。平成 27 年度は、約 4,000 万円の入湯税があった。平成 28 年度の入湯税の使途は、約 70%を観光関係に割り振っている。その 70%のうち、50%を天橋立観光協会に交付している。残りの 50%は、各イベントに交付されている。燈籠流し花火大会に 700 万円、きもの祭りに 40 万円、芸能保存事業に 15 万円、その他に 645 万円となっている。全体の 35%（1,400 万円）が天橋立観光協会への交付金となっている。残りの 30%は環境衛生施設となっており、これまで建設した施設の公債費返還に充てられている。源泉維持の手法については、市と意見交換をしたい。

Q. 海開きを前に、府中海水浴場の砂浜が削られており、危険な状況になっている。京都府の土木事務所に相談したところ、4 月までは土木事務所の担当で、それ以降は港

湾局の担当になったと言われた。港湾局に連絡したところ、対応してもらえず困っている。

A. 総務文教委員会として、宮津市を通して京都府へ伝えてもらう。

Q. 観光商業施設（現：食品卸売センター）について、ビジョンが見えてこない。補助金ありきではなく、地域に何が必要なかを議論して進めていただきたい。

A. 観光商業施設については、6月議会を会期延長して議論した。経過については、平成24年に浜町から食品卸売センターまでを一体的に整備する計画が打ち出された。平成25年には、観光商業施設にする目的で食品卸売センターの用地を市が購入した。平成28年からは、基本設計・トイレ改修が行われた。

賛成の意見としては、観光交流人口が300万人に届くところまで来ているが、観光消費額については、目標の150億円に対して、約94億円となっており、観光消費額の拡大をどのように図っていくのかが大きな課題であり、その打ち手として、浜町の整備や食品卸売センターの観光商業施設化を行っていくべき。また、人口減少・高齢化が進む街において事業を担っていく事業者が出てこないという課題があったが、今回は12事業者が手を挙げてくれた。反対の意見としては、運営主体も決まっていな中で補助を出すのはいかなものかという意見があった。

議会としては、実施設計費を認め、運営主体をまずは明確化してから事業を進めてほしいという考えで、改修工事費予算執行留保の附帯決議を付け可決したところ。

Q. 海の京都DMOで行ったアンケート調査では、京丹後の満足度が高い結果となっている。私たちも努力しないといけないが、「食」の部分で負けている。京丹後は、魚が安く手に入る。宮津は魚のまちで売っているが、いい魚は舞鶴に行ってしまう。地元の魚を使いたいが、手に入らないので外から買っている。農水商工観連携会議があるが、会議で終わってしまっている。もっと課題解決する場を提供してもらいたい。

A. 流通自体を大きく変えていくには、観光業や他の業界の方と一緒に変わっていくことが必要なのではないかと考える。担当部署に伝える。

Q. 人材採用の観点でも、観光業については求人倍率が2倍を超えている。観光業は土日が忙しいので、なかなか人が集まらない。働きやすい環境を作っていただきたい。地元で採用したいが、従業員はほとんど宮津市外となっている。

A. ご意見として伺う。

Q. 人口減少が進んでいく中で、海外から外国人観光客を呼んでくる必要があると考える。世界の旅行市場を開拓しているのは、欧米諸国となっており、それについてい

くには、英語圏のアジア、台湾、タイ、そして中国などが続く。もっと戦略的にインバウンドを推進していくべき。最近増えているアジア層の旅行の目的は、ショッピングやUS Jなどのアミューズメント施設である。天橋立などを持つ宮津市を気に入ってくれるのは欧米の個人旅行となっている。そこをしっかりと掴むことが大切だと考えている。

A. ご意見として伺う。

Q. インバウンドについて言えば、日本三景・京都などのブランドは海外で非常に強い。関西限定JRパスは先日使えるようになったが、全体で使えるJRパスを使えるようにしてほしい。また、それが難しいならバスの便数を増やすなどしてほしい。実際、アクセスが悪いのでレンタカーが増えている。
街中でWi-Fiが使えるなどしてほしい。

A. 担当部署に伝える。

Q. 観光交流センターの案内所で一番多い問い合わせは、魚が食べられる食事処と、干物などの宮津ならではの土産が買える土産物店についてである。食事処については「お食事クーポン」の取り組みを行っているが、宮津のまちなかでは2件しかないので、しっかり対応できるようにしていきたい。インバウンド対応としては、SNSなどで情報発信をしている。他にもやっていきたいことが多くあるが財源がない。財源を付けてもらえるようお願いしたい。

A. 担当部署に伝える。

Q. 観光協会は会員の組織で、会費をいただいて運営している。観光案内所が3か所ある。宮津地区だけが市からの受託で運営している。情報発信などをして入込客数を増やす努力をしていかないといけない。観光案内所はある意味公共施設なので、文珠・府中地区の観光案内所を公共施設とし、受託する形にしていただきたい。施設のあり方を考えてもらいたい。

A. 担当部署に伝える。

市民と議会の懇談会の概要を報告します。

平成 29 年 8 月 22 日

宮津市議会議長 松浦 登美義 様

総務文教委員会 委員長 城 崎 雅 文

「市民と議会の懇談会」回答

開催日 平成29年7月7日（金）

開催場所 天橋立駅2階 会議室

相手方 天橋立観光協会 7名

【主な要望・提言等】

Wi-Fi 整備について

Q. インバウンドについて言えば、日本三景・京都などのブランドは海外で非常に強い。関西限定 JR パスは先日使えるようになったが、全体で使える JR パスを使えるようにしてほしい。また、それが難しいならバスの便数を増やすなどしてほしい。実際、アクセスが悪いのでレンタカーが増えている。

街中で Wi-Fi が使えるなどしてほしい。

A. 担当部署に伝える。

【回答】

2年前に宮津市内における Wi-Fi の設置状況を調査したところ、公共施設では、道の駅、宮津駅、天橋立駅、天橋立ユースホステルにおいて設置済みでした。また、民間の観光施設においては、外国人旅行者の宿泊実績がある主な宿泊施設などでは設置済みでしたが、民間の宿泊施設、土産物店、ドライブイン、展望施設などでもまだ Wi-Fi の設置に至っていない施設がある状況でした。

そうした中、現在は手軽に購入できる格安で解約金の発生しないデータ通信専用 SIM カードなどや、また、国際空港などで受け取りができる「レンタル Wi-Fi ルーター」も広く普及していることから、Wi-Fi 以外の方法でデータ通信を利用する外国人が増えてきているなど、環境が変化していることが指摘されています。

Wi-Fi 環境の整備については、コストもかかってくることから、必要性について慎重に検討していく必要があると考えます。

検討に当たり、日頃から外国人観光客に対しご案内されている観光協会において、まず Wi-Fi 環境のニーズについて窓口にお越しになった外国人観光客に確認されるなど、外国人観光客が何を求めているのか調査していただくと大変助かります。

市民と議会の懇談会の概要【団体】

開催日時	平成29年7月4日(火) 午後6時～8時15分
開催場所	宮津市社会福祉協議会 会議室
相手方(人数)	17名
担当	産業建設福祉委員会
<p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度3月議会当初予算の説明 ・所管事務調査の報告 ・3グループに分かれての意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ◆相談事業について ◆外出支援について ◆総合事業について ・意見交換結果の報告 	
<p>【主な意見・要望・提言等】</p> <p>◆相談事業について</p> <p>Q. 高齢者には支援制度や施設があるが、障害のある人や精神疾患、引きこもり等の方への支援が弱い。支援をだれがどう対応するのか。また、府の保健所が統合されたため、社協で困ったことを相談しづらい。</p> <p>A. 市職員と議員が協同で府に働きかけ、迅速な対応ができるようにネットワークづくりが必要である。</p> <p>Q. ごみの分別ができない方や、ゴミステーションまでゴミを持って行けない方もいる。困ったら気軽に相談できる地域づくりが必要ではないのか。</p> <p>A. 元気な高齢者を増やして地域のサポート役になるような取り組みが必要である。</p> <p>◆外出支援について</p> <p>Q. 通院支援について、舞鶴や峰山など市外への対応や、病院の帰りに買い物をというニーズも出てくるであろう。責任の在り方から対応できないのが現実であるが、今後はどう対応していくべきか。</p> <p>A. 市の公共交通会議に要望を出す。</p> <p>Q. 買い物支援は年3回、日ヶ谷では送迎バスを独自運行している。今後は、免許返納後の方の支援も必要となる。年金受け取り後の買い物支援も増えるであろう。こういった様々なニーズに対応していくには運営が厳しい。市の支援の検討をしてほしい。</p> <p>A. 担当部署に伝える。</p> <p>◆総合事業について</p> <p>Q. 訪問型サービスAを市から委託され取り組んでいるが、利用金額の提示がまだない。また、事業が不明瞭で現場で対応しにくい。</p>	

A. 総合事業の利用料や事業内容のはっきりとした提示を早急にするべきだ。担当部署に伝える。

Q. 些細なことや自分でできることは自分でするように自立をしてほしい。職員数が少ないことから対応しきれず他の方を断るケースも出てきている。

A. 地域のコミュニティを大切に、自立できる環境をつくることを目指すべきである。

市民と議会の懇談会の概要を報告します。

平成 29 年 8 月 18 日

宮津市議会議長 松浦 登美義 様

産業建設福祉委員会 委員長 長林 三代